

平成24年度宮崎支部医療費状況(概要)

平成27年3月20日



全国健康保険協会 宮崎支部
協会けんぽ

平成24年度 医療費レーダーチャート

1人当たり医療費等の全国値との比較

全傷病	1人当たり医療費(円/人)		
	宮崎県 [構成比]	全国 [構成比]	比率 (÷)
全体	138,273 [100.0%]	138,906 [100.0%]	1.00
入院	48,618 [35.2%]	45,204 [32.5%]	1.08
入院外 (調剤を含む)	89,655 [64.8%]	93,702 [67.5%]	0.96
入院÷入院外	0.54	0.48	

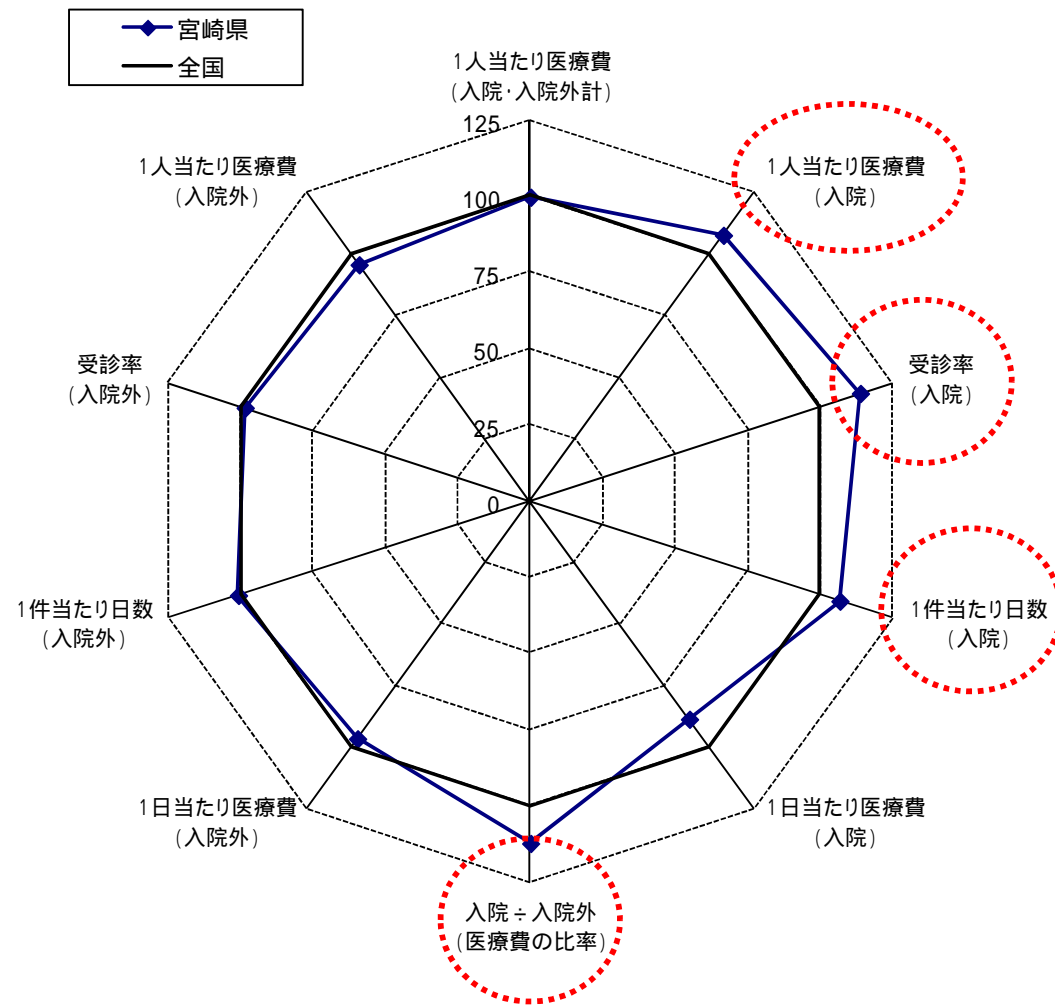
全傷病	受診率(件/千人)		
	宮崎県	全国	比率
入院	111	98	1.14
入院外	5897	5991	0.98

全傷病	1件当たり医療費(円/件)		
	宮崎県	全国	比率
入院	436,196	461,194	0.95
入院外	15,202	15,642	0.97

全傷病	1件当たり日数(日/件)		
	宮崎県	全国	比率
入院	11.04	10.35	1.07
入院外	1.52	1.51	1.01

全傷病	1日当たり医療費(円/日)		
	宮崎県	全国	比率
入院	39,516	44,576	0.89
入院外	10,005	10,367	0.97

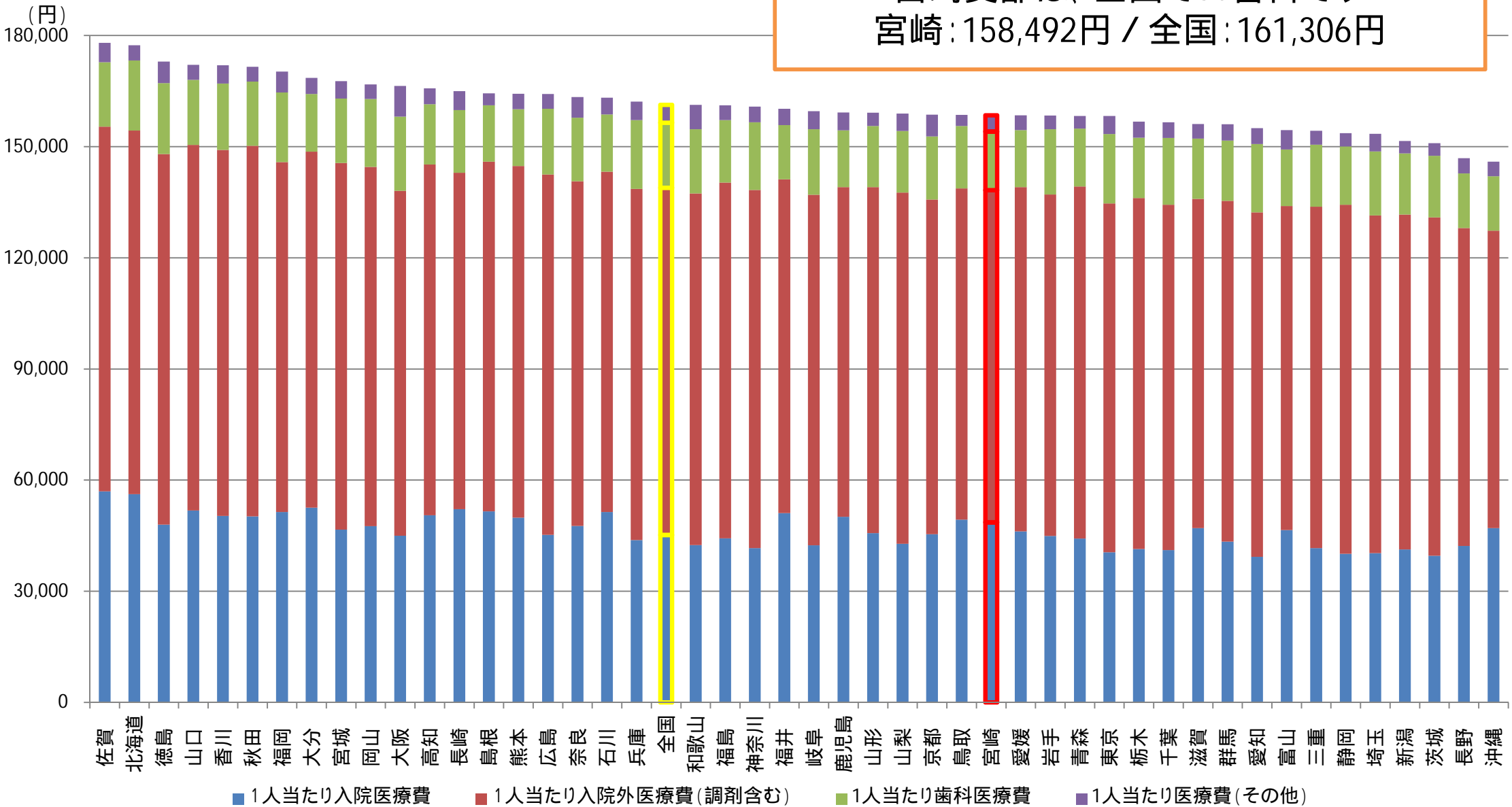
全傷病：医療費



データ：協会けんぽ月報による実績
 年次：平成24年度
 注：入院外医療費には調剤分が含まれている

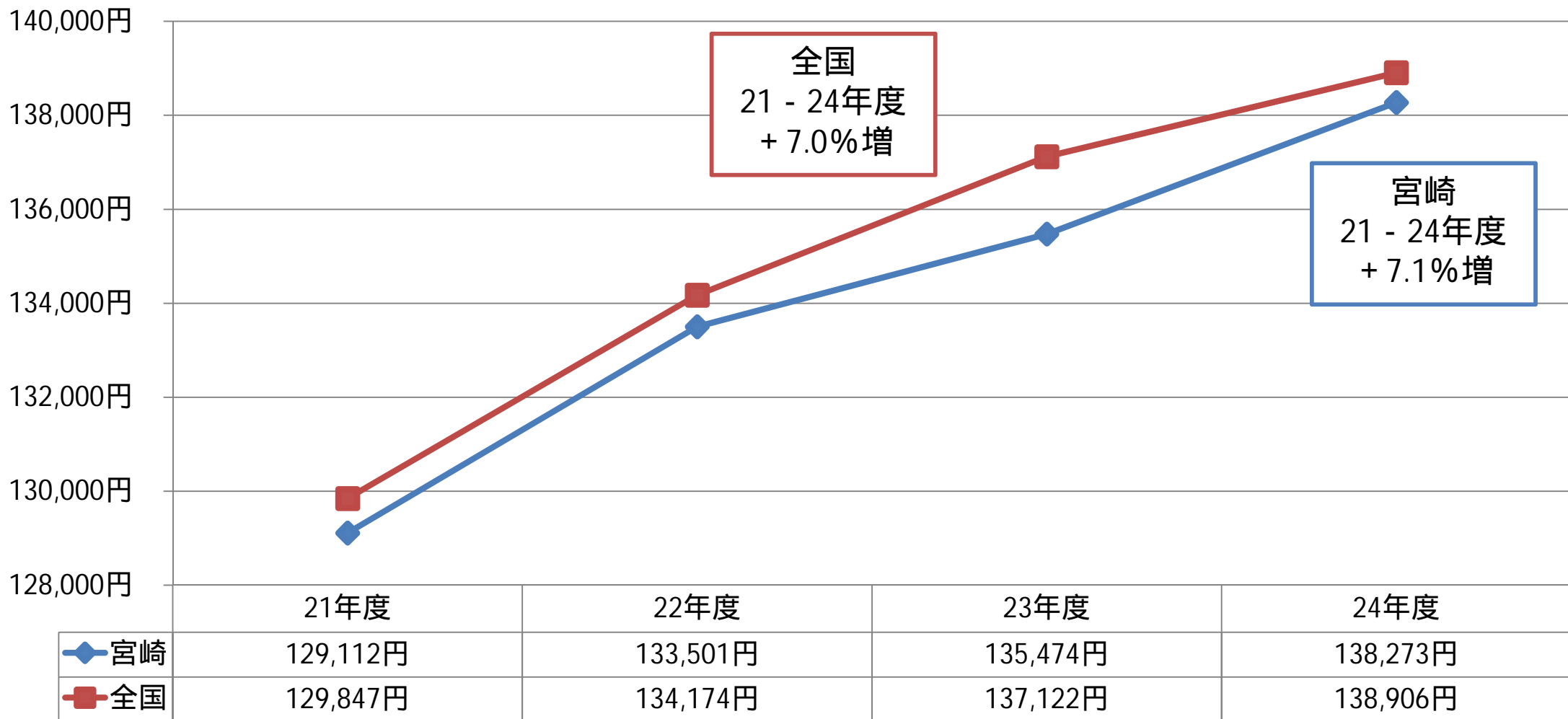
支部別 加入者1人当たり医療費(平成24年度)

宮崎支部は、全国で30番目です
 宮崎:158,492円 / 全国:161,306円



その他は入院、入院外、歯科、調剤以外のものであり、柔整療養費、移送費など
 (データ)協会けんぽ月報による実績

1人当たり医療費(入院 + 入院外)

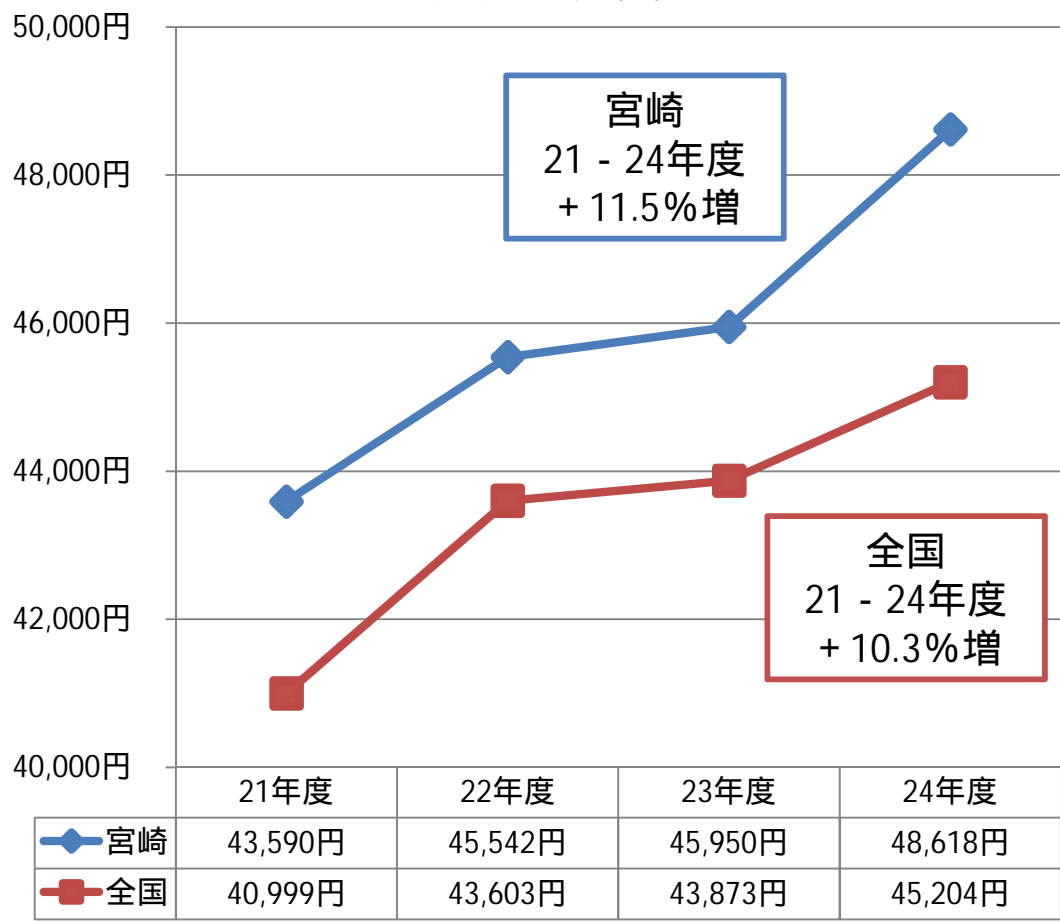


(データ)協会けんぽ月報による実績

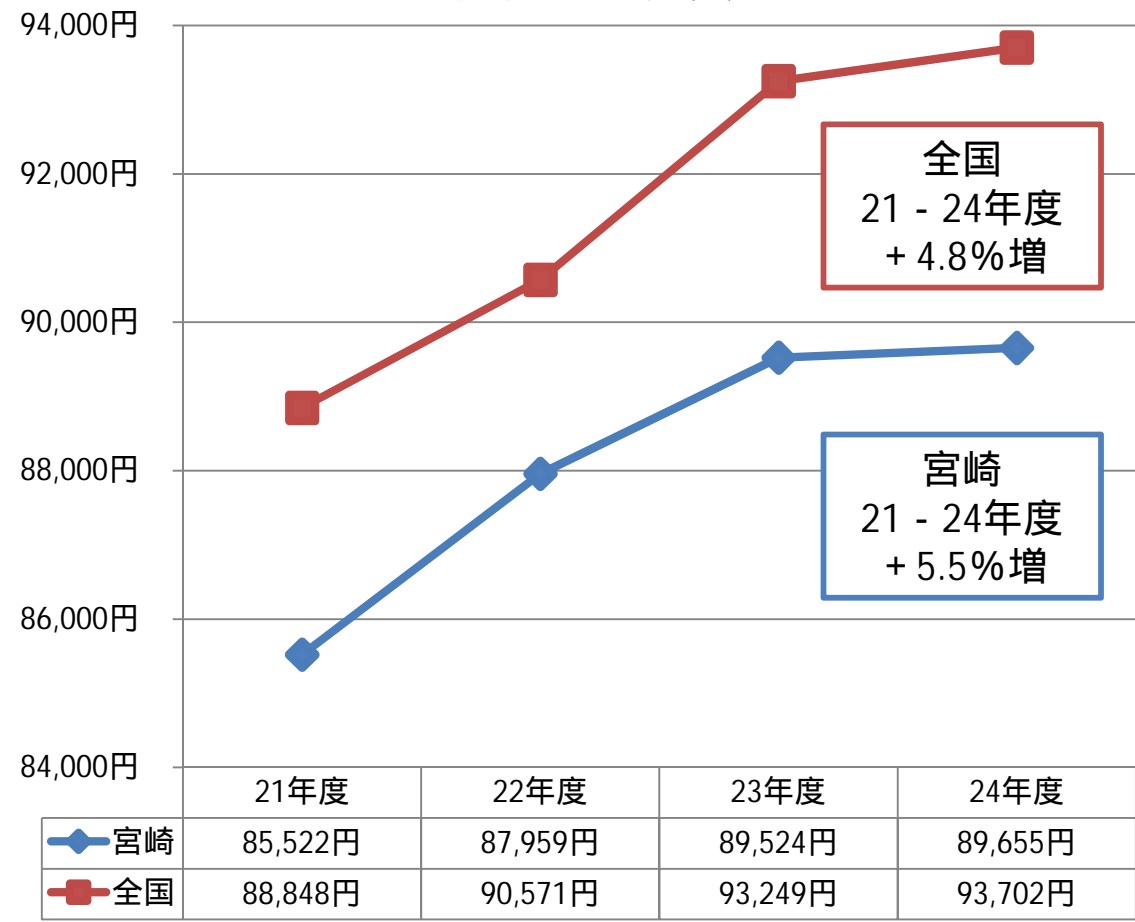
宮崎支部の1人当たり医療費(入院 + 入院外)は、全国平均を下回り続けているが、平成23年度から24年度にかけての伸び率は2.0%と全国平均(1.3%)を上回っている。

1人当たり医療費

入院医療費



入院外医療費

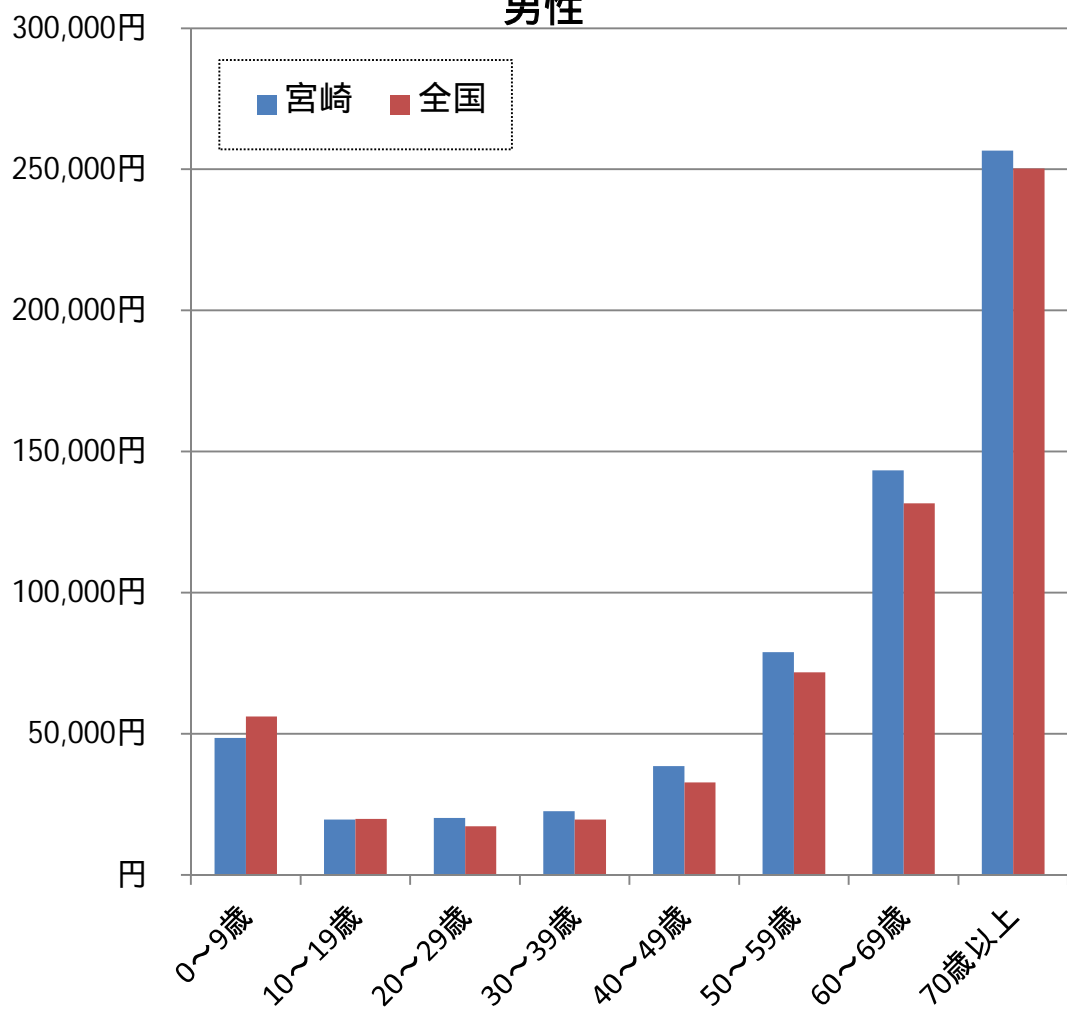


(データ)協会けんぽ月報による実績

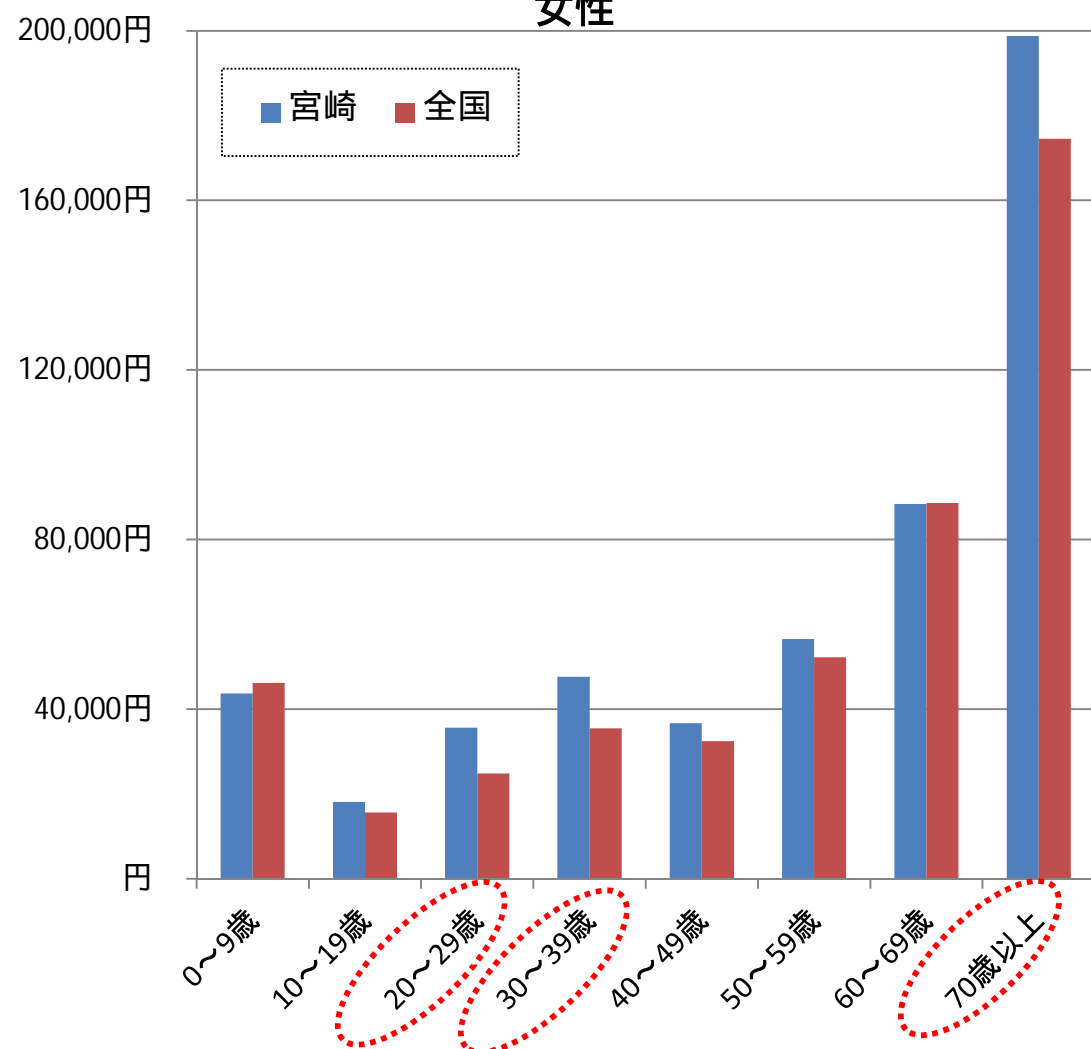
宮崎支部は、1人当たり入院医療費が全国平均を上回り続けている反面、1人当たり入院外医療費は全国平均を下回り続けており、その傾向に変化はない。

1人当たり入院医療費 (平成24年度)

男性



女性

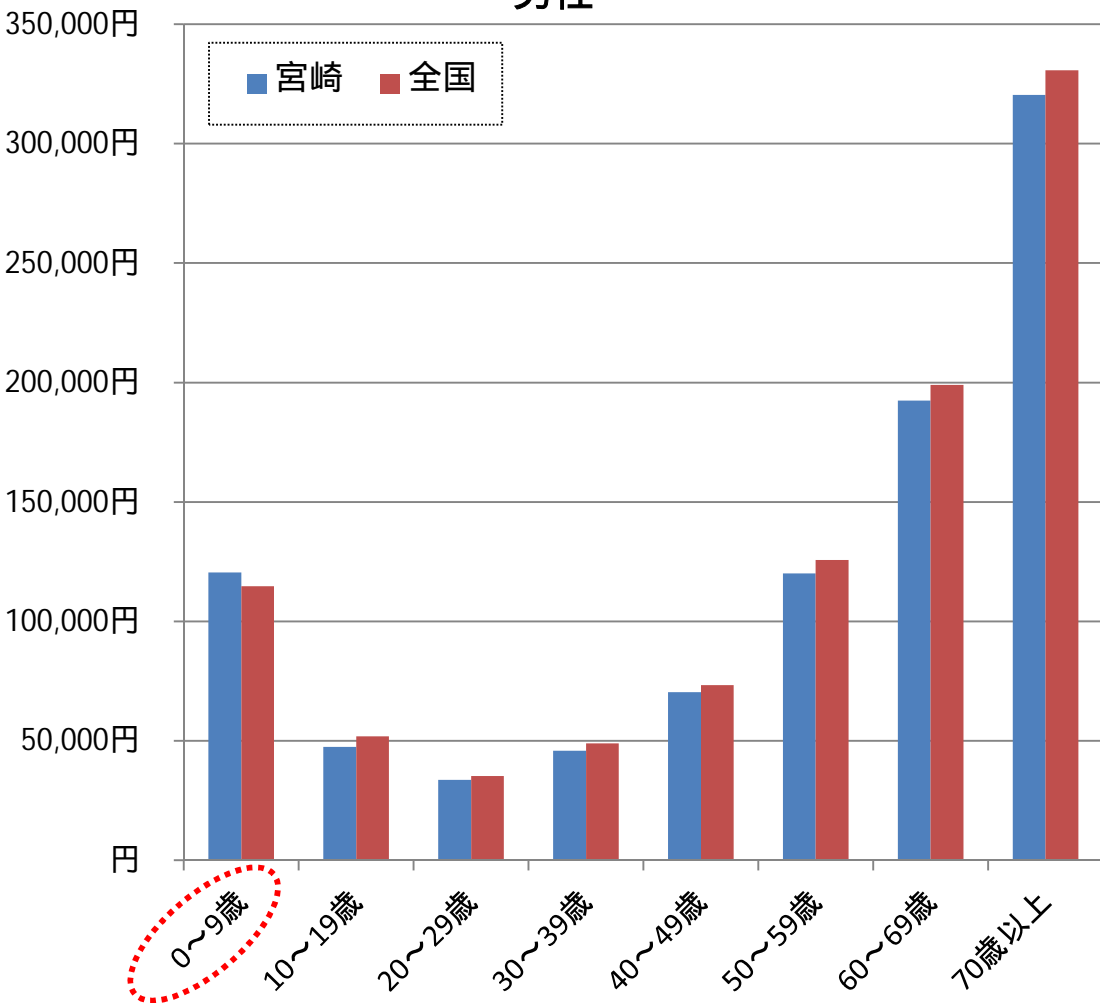


(データ)平成24年4月～平成25年3月 レセプトデータの集計値

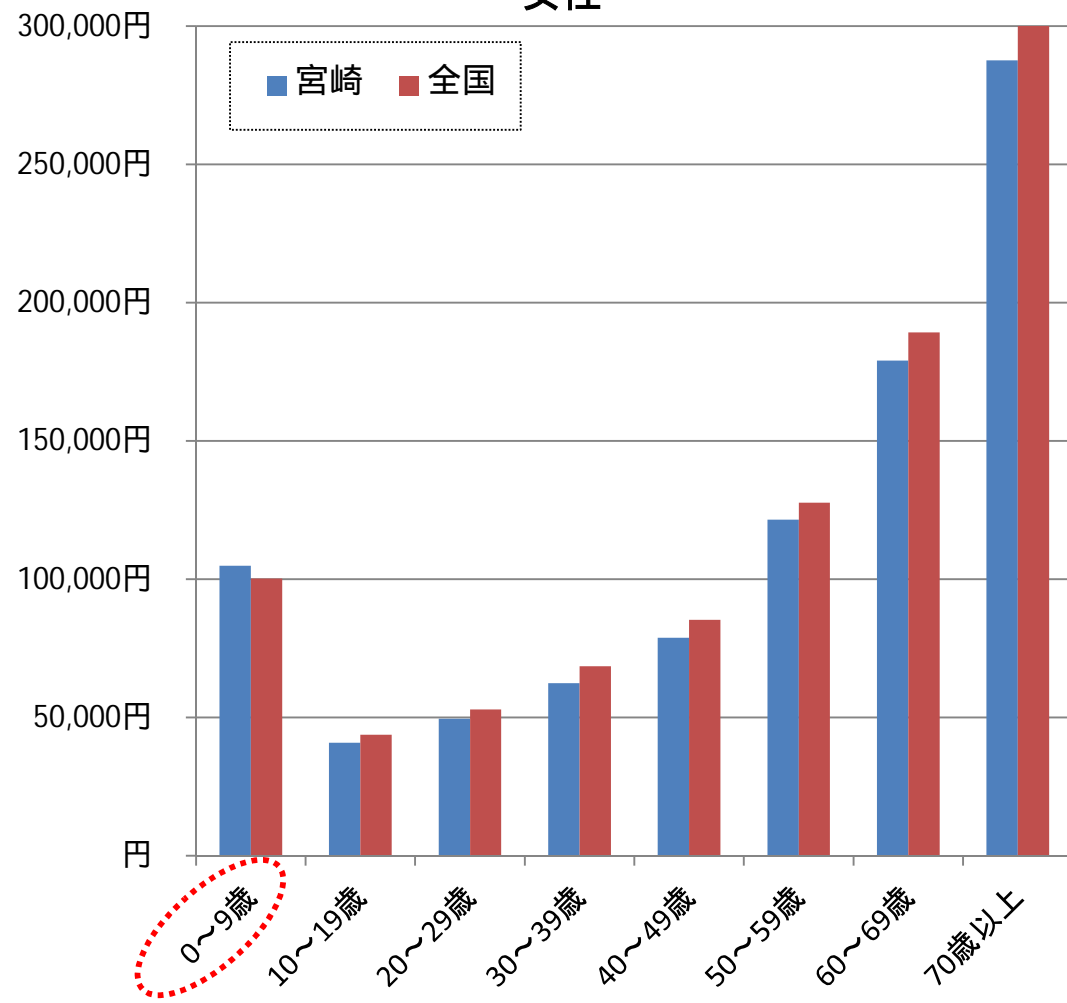
宮崎支部と全国を比較すると、女性は20歳代、30歳代、70歳以上で全国平均を大きく上回っている。

1人当たり入院外医療費(平成24年度)

男性



女性

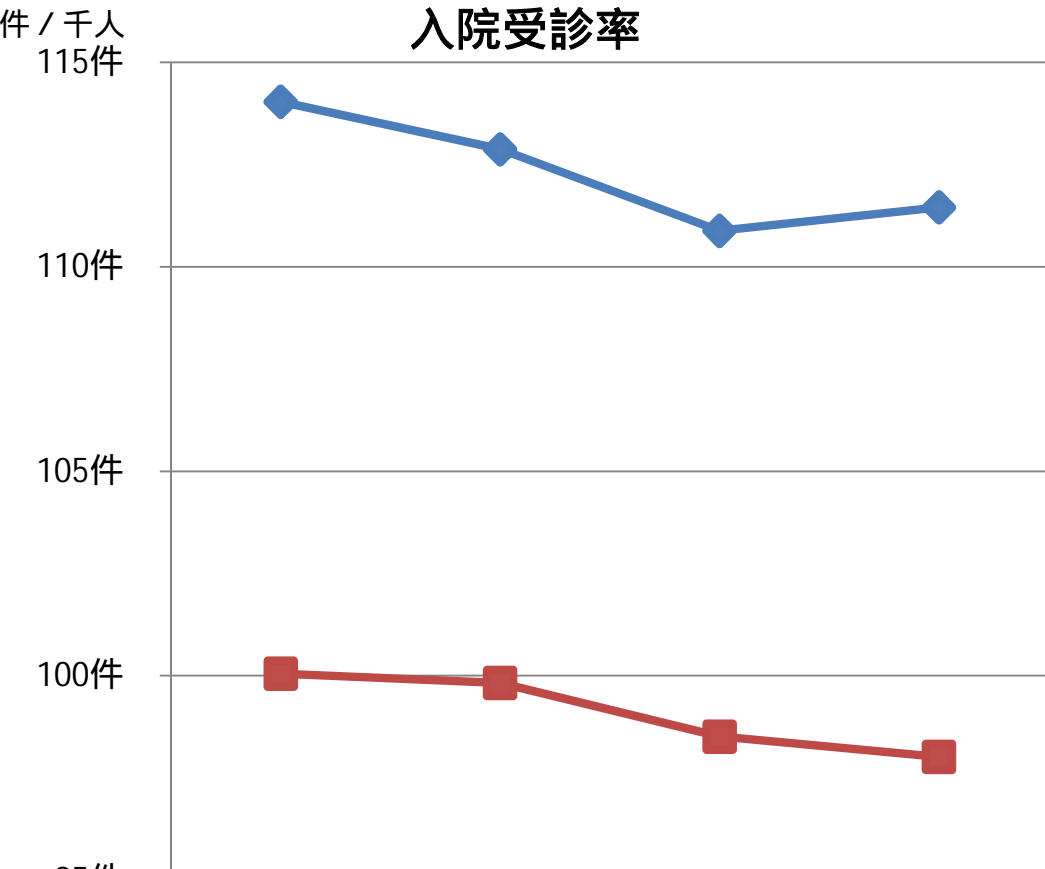


(データ)平成24年4月~平成25年3月 レセプトデータの集計値

男女ともに0~9歳は全国平均を上回っているが、それ以外の年代では全国平均を下回っている。

受診率

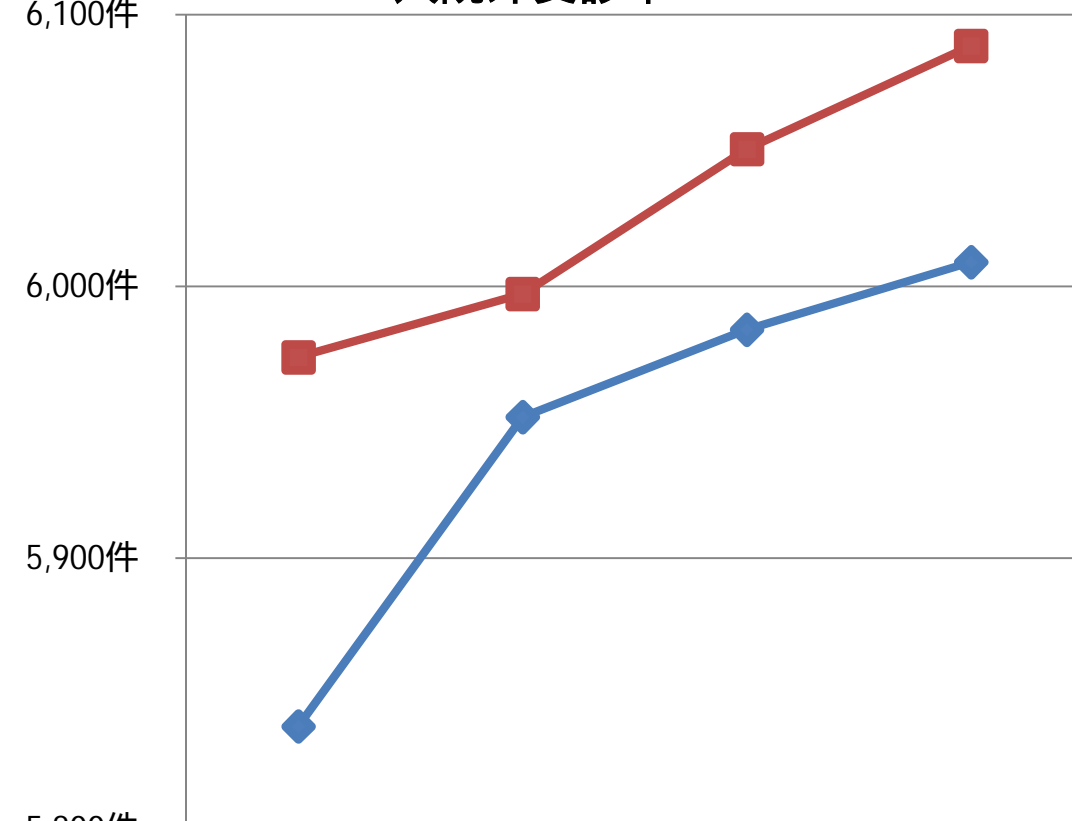
入院受診率



	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
宮崎	114件	113件	111件	111件
全国	100件	100件	99件	98件

件/千人
6,100件

入院外受診率



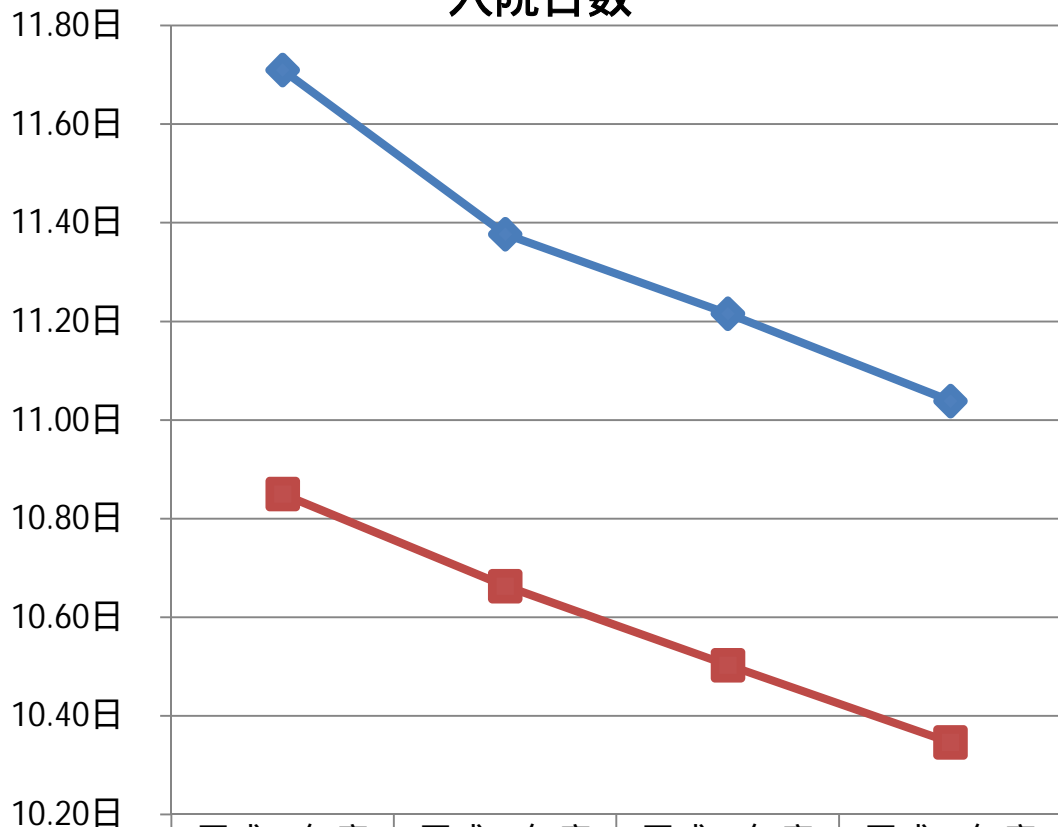
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
宮崎	5,838件	5,952件	5,984件	6,009件
全国	5,974件	5,997件	6,051件	6,089件

(データ)協会けんぽ月報による実績

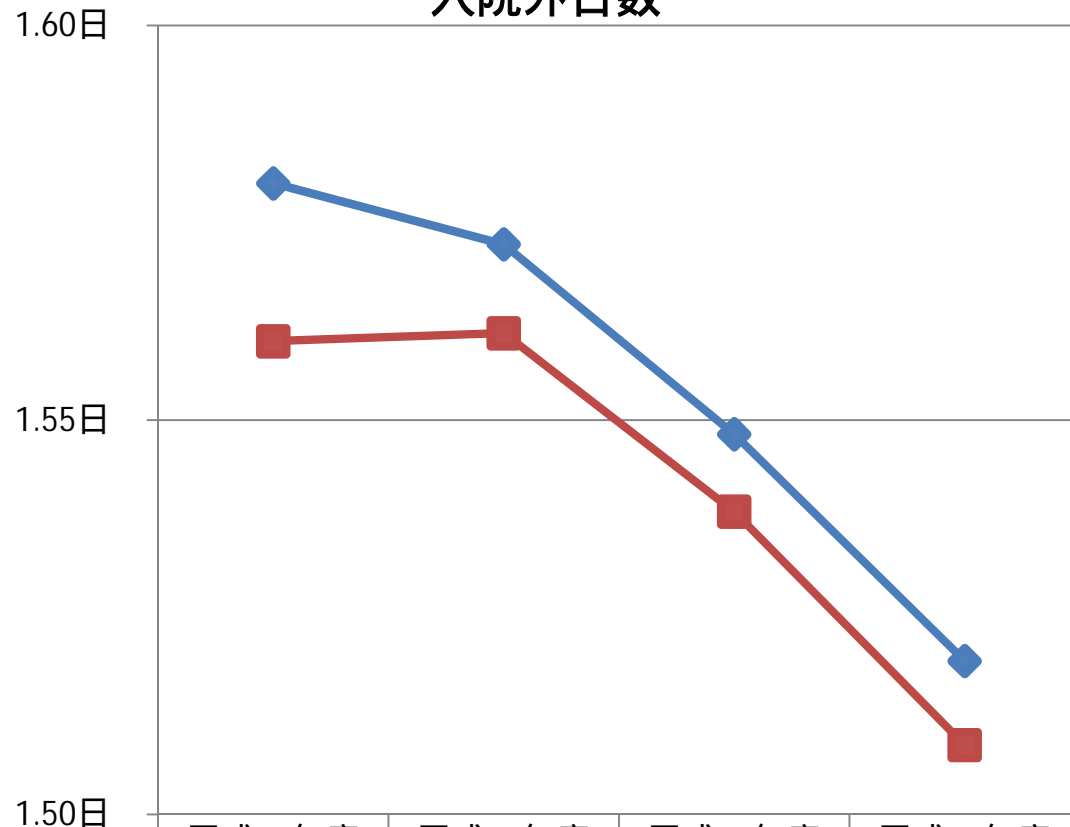
入院受診率をみると全国平均では減少傾向にあり宮崎支部も減少傾向にあったが、平成24年度では増加に転じた。

1件当たり日数

入院日数



入院外日数

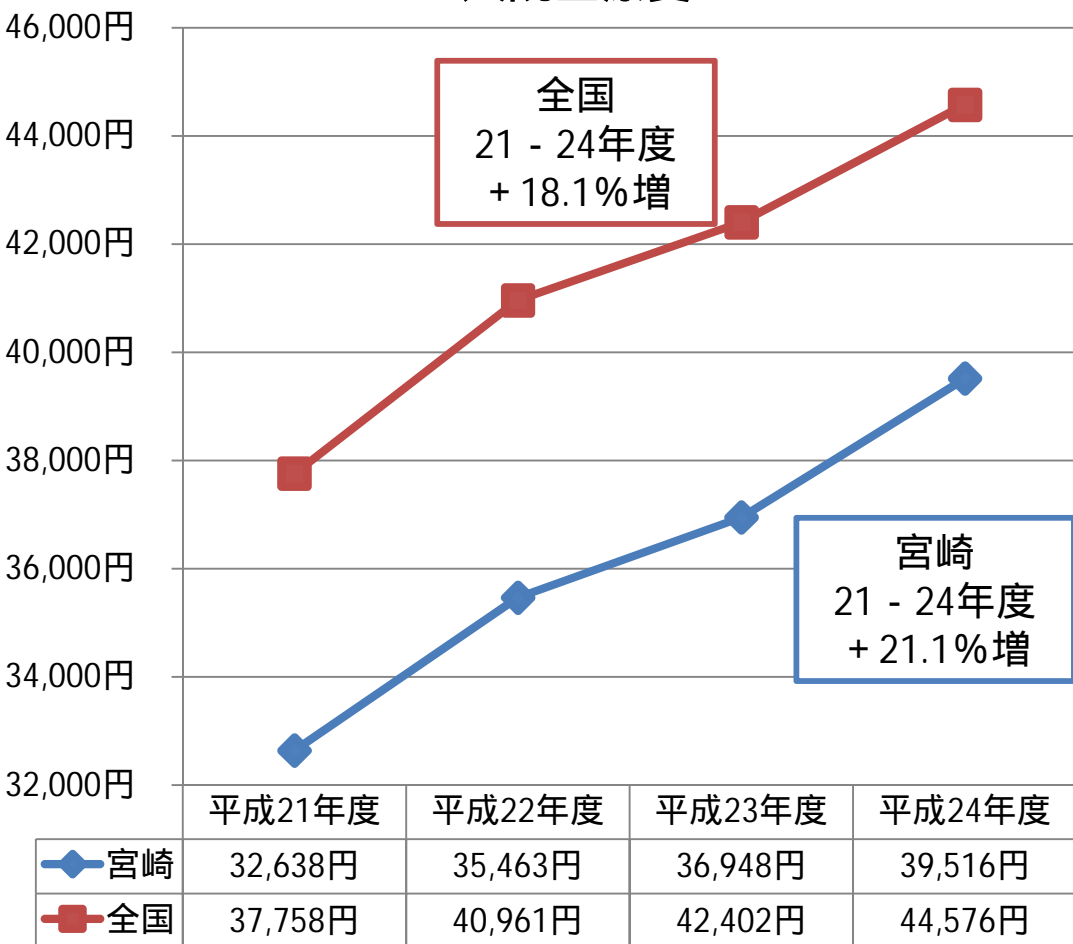


(データ)協会けんぽ月報による実績

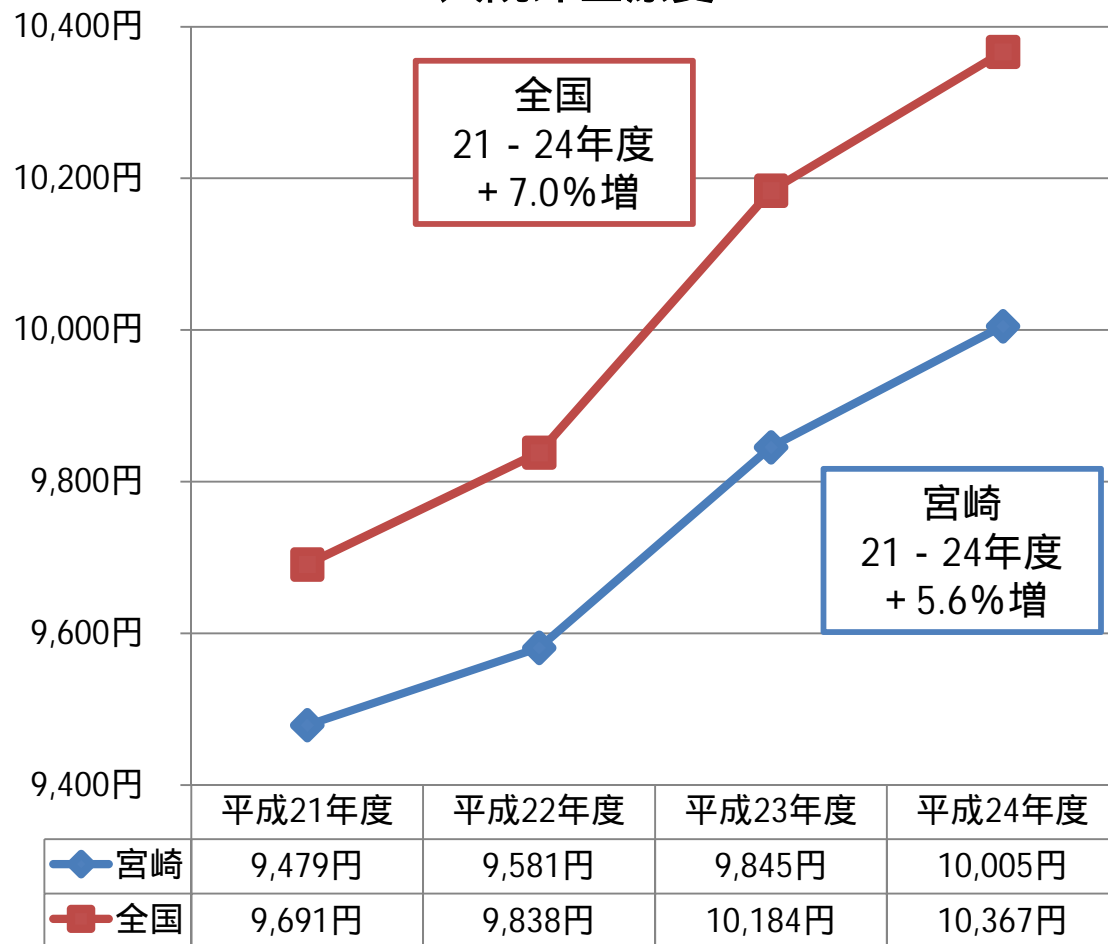
宮崎支部は入院・入院外ともに全国平均を上回っているが、宮崎支部・全国ともに減少傾向にある。

1日当たり医療費

入院医療費



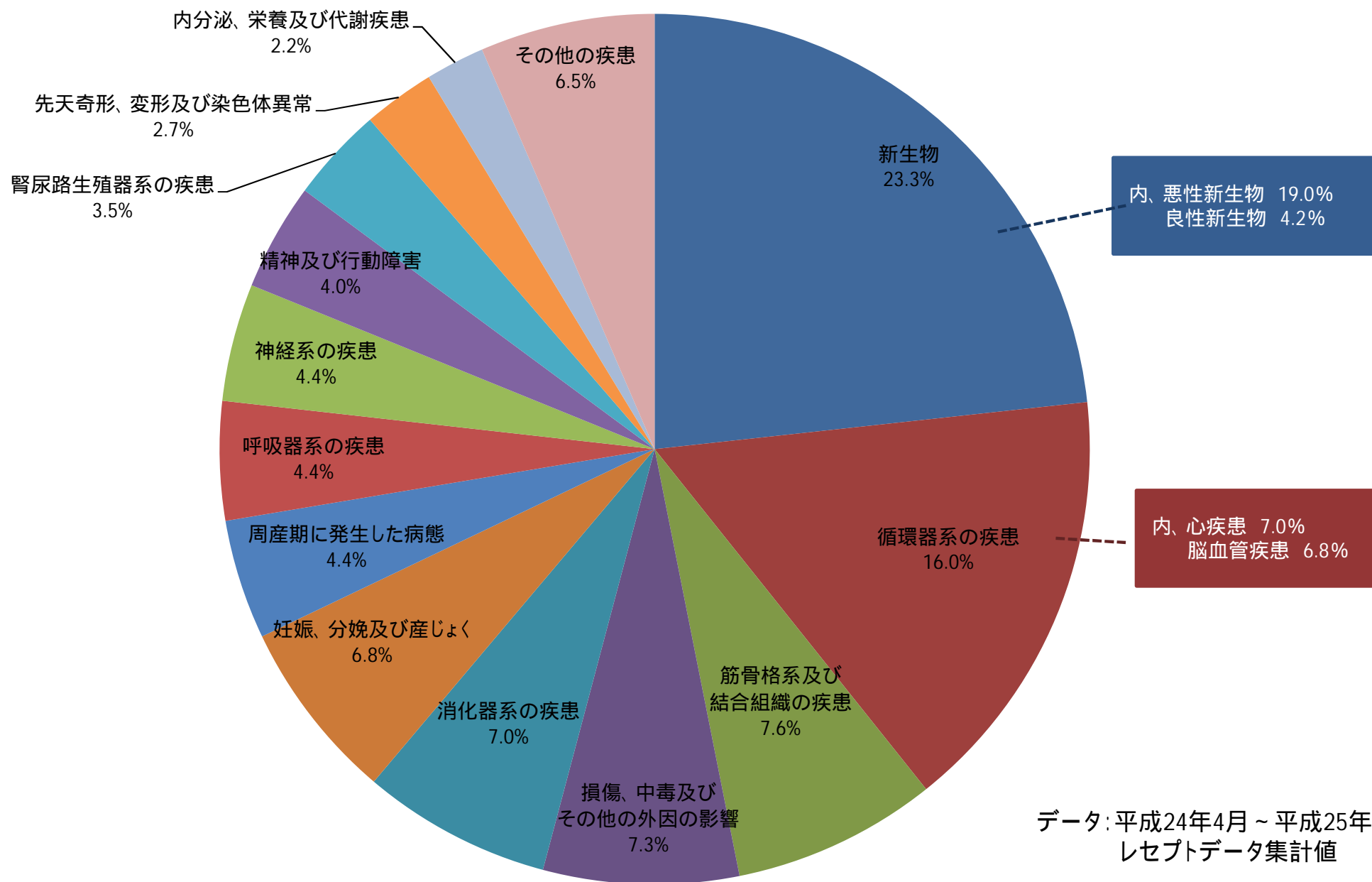
入院外医療費



(データ)協会けんぽ月報による実績

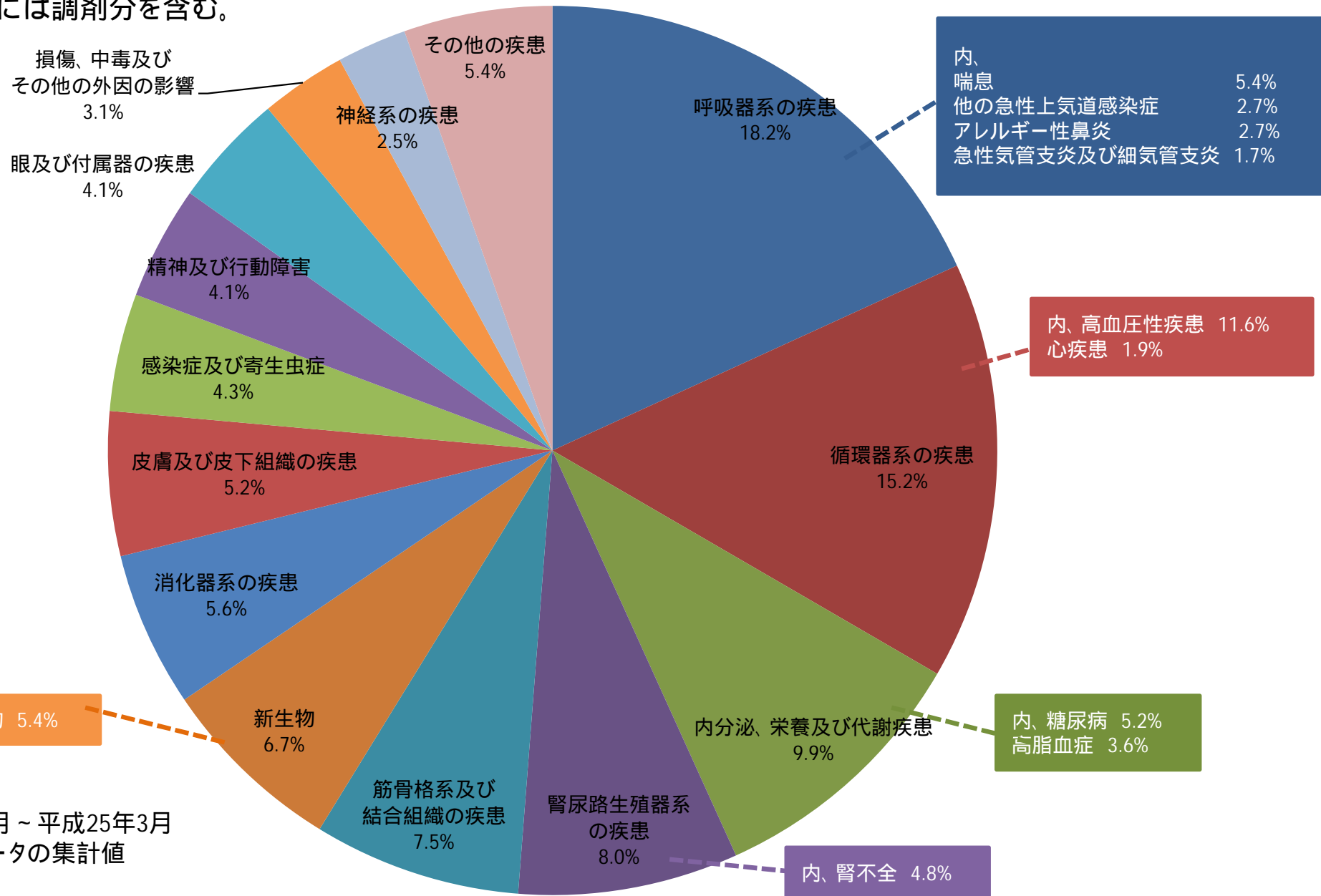
入院について、宮崎支部の受診率・1件当たり入院日数は全国平均を上回っていたが、1日当たり医療費は全国平均を下回り続けている。そのため、受診率が入院日数が下がるだけで、入院医療費抑制につながる。

平成24年度 入院医療費内訳(宮崎)



平成24年度 入院外医療費内訳(宮崎)

入院外の医療費には調剤分を含む。

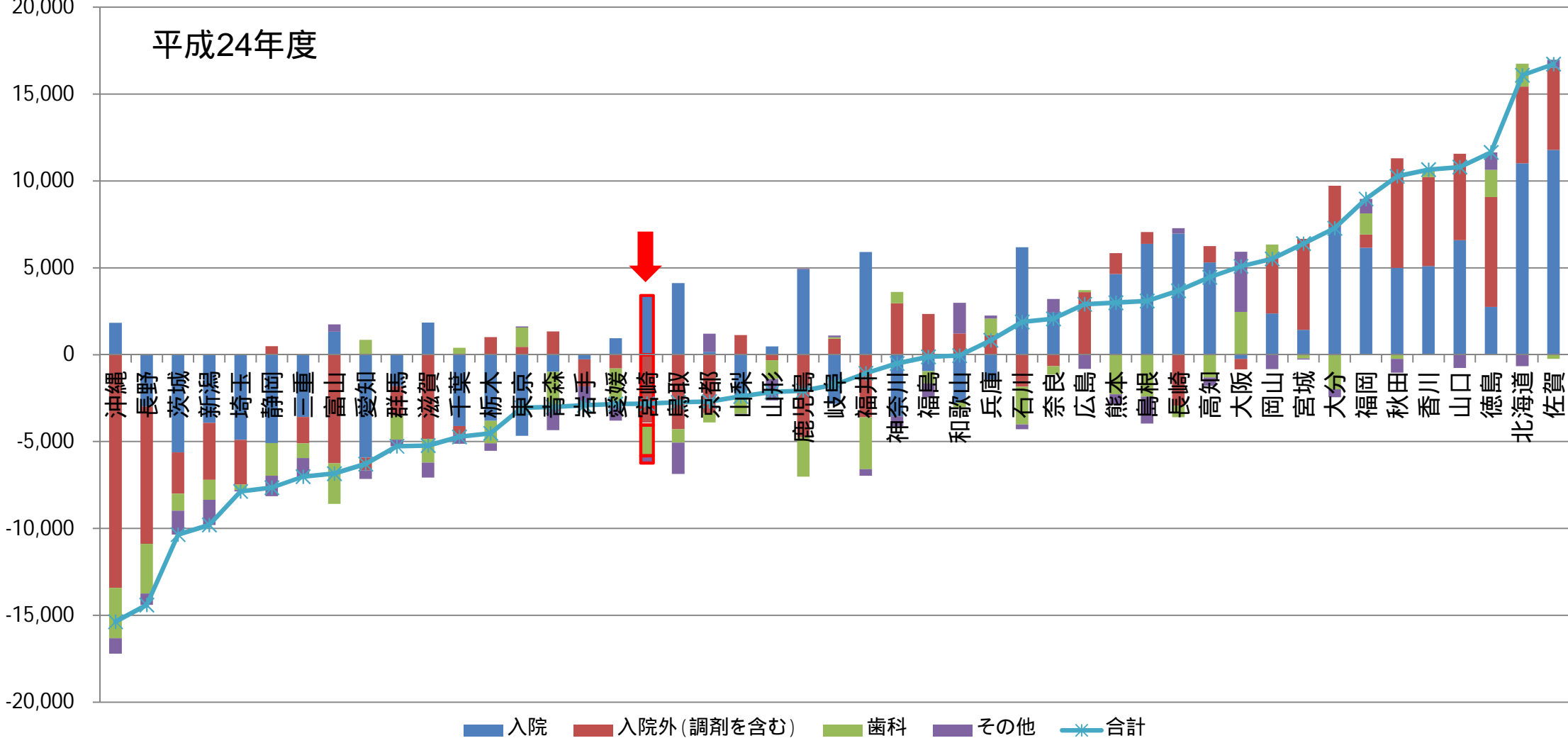


データ:平成24年4月～平成25年3月
レセプトデータの集計値

加入者1人当たり医療費の状況(全国との差)

(円)

平成24年度



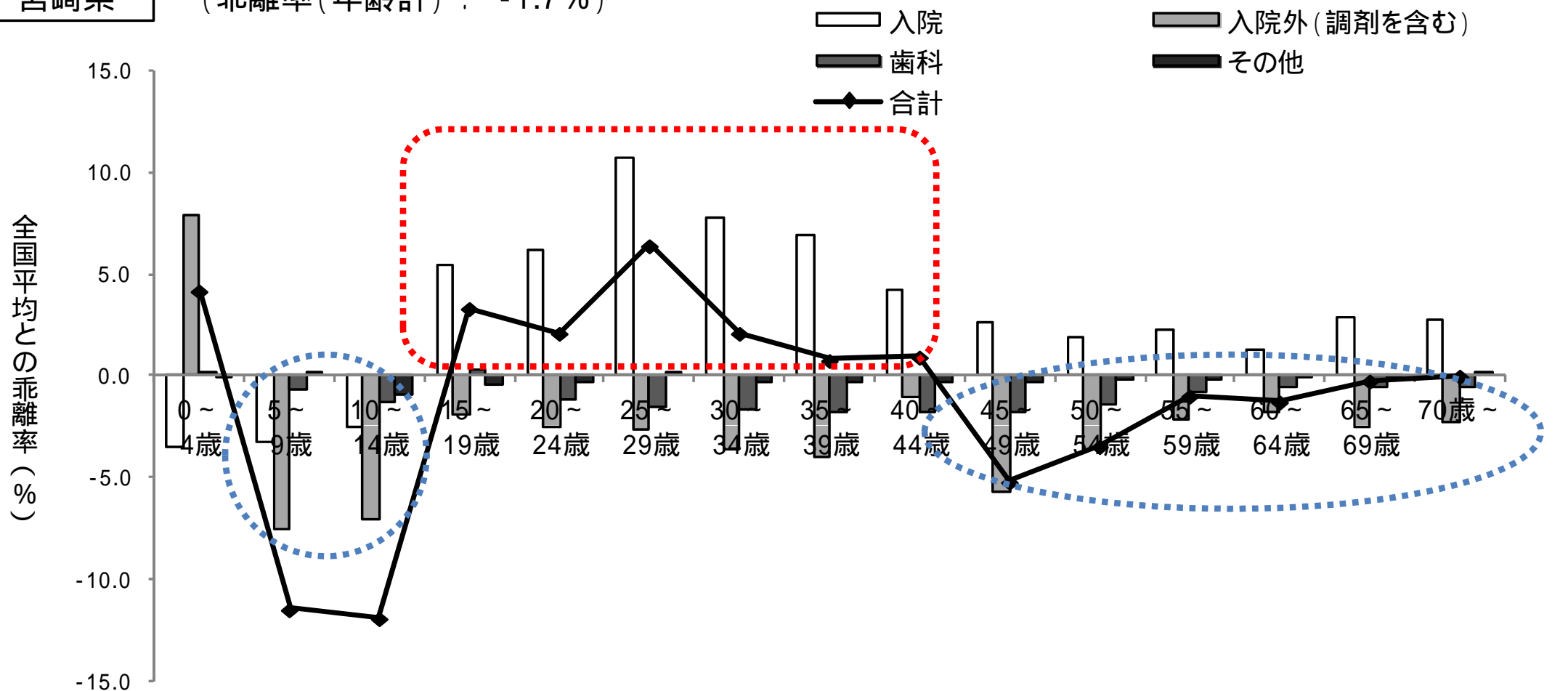
(データ)平成24年度 都道府県医療費等の基礎データ

宮崎支部は、1人当たり入院医療費が下がれば、全国平均をさらに下回り、医療費下位支部となることができる。

加入者1人当たり医療費の状況(全国との差)

宮崎県

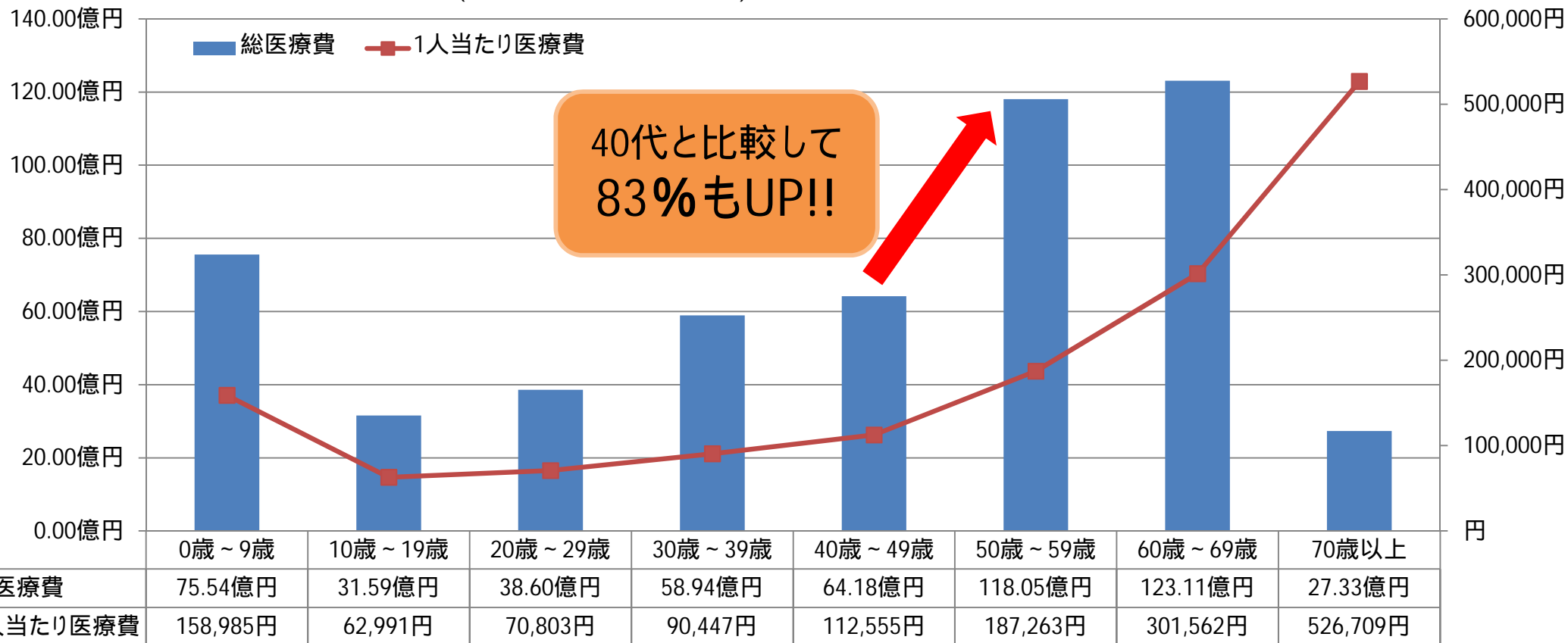
(乖離率(年齢計) : -1.7%)



(データ)年齢階級別診療種別地域差指数等(平成24年度)

宮崎支部は、15歳以降の年代で入院医療費が全国平均を上回り、特に15～39歳までの年代で全国平均との乖離率が大きい。しかし、入院外医療費は0～4歳以外の年代では全国平均を下回り、特に医療費がかかる50歳以降の年代で平均を下回っていることが1人当たり医療費を押し下げている要因と考えられる。

年代別の医療費と1人当たり医療費(平成24年度:宮崎)

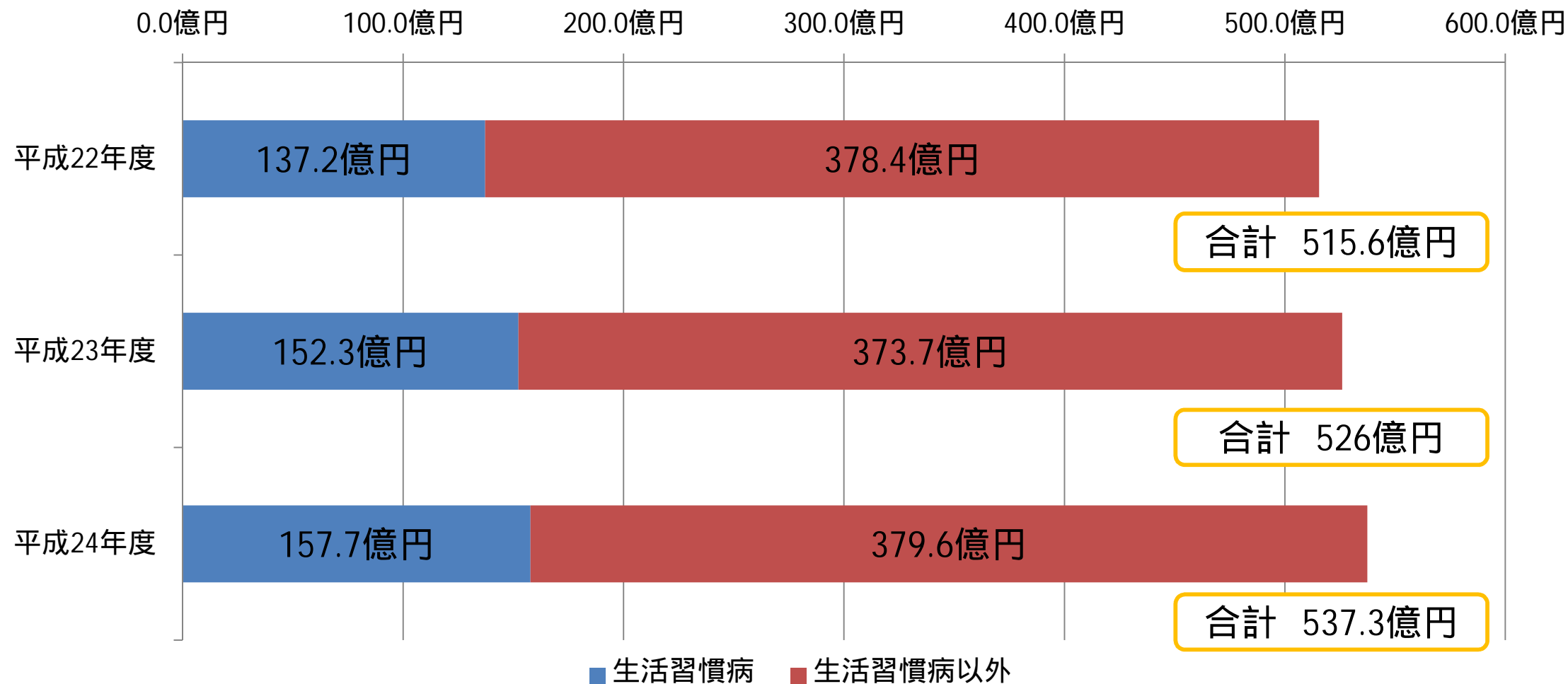


(データ)統計システムより算定ベースで集計

- 0～9歳 : 医療費が全世代の中で3番目に高い。未就学児の医療費無料の影響があると考えられる。
- 40～49歳: 1人当たり医療費が10万円を超え始める。50代になると医療費が一気に上昇するため、予防の観点からは最もアプローチが必要な世代といえる。
- 50～59歳: 全世代で2番目に医療費が高い。60歳以降に向けてこの世代もアプローチが必要。
- 60～69歳: 全世代で一番医療費が高い。前期高齢者納付金には65～74歳までの医療費が関係するため全国的に対策が必要な世代。
- 70～74歳: 1人当たり医療費は断トツで高いが、医療費は加入者が少ないため全世代で一番低い。

医療費の推移(宮崎)

生活習慣病には、悪性新生物、糖尿病、高脂血症等、高血圧症、心疾患、脳血管疾患を含む。

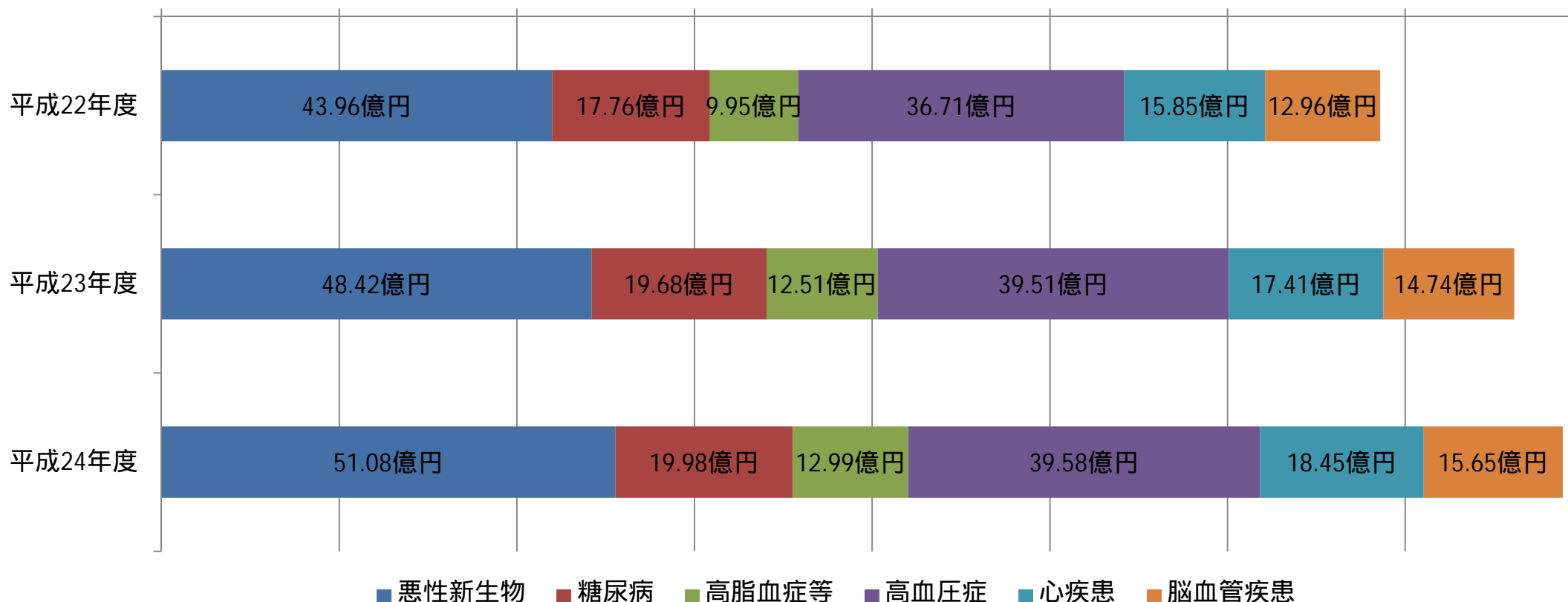


(データ)統計システムより算定ベースで集計 (年次)平成22年度～平成24年度

平成22年度と24年度を比較すると、生活習慣病は20.5億円増だが、生活習慣病以外の医療費は1.3億円増にとどまっている。増加した医療費のおよそ95%は生活習慣病にかかる医療費であった。

生活習慣病にかかる医療費の推移(宮崎)

0.00億円 20.00億円 40.00億円 60.00億円 80.00億円 100.00億円 120.00億円 140.00億円 160.00億円



■ 悪性新生物 ■ 糖尿病 ■ 高脂血症等 ■ 高血圧症 ■ 心疾患 ■ 脳血管疾患

(データ)統計システムより算定ベースで集計 (年次)平成22年度～平成24年度

22年度	24年度	伸び額	伸び率
悪性新生物	51.08億円	7.12億円	16.2%
糖尿病	19.98億円	2.21億円	12.5%
高脂血症等	12.99億円	3.04億円	30.6%
高血圧症	39.58億円	2.88億円	7.8%
心疾患	18.45億円	2.60億円	16.4%
脳血管疾患	15.65億円	2.69億円	20.7%